

別記様式第19号(第29条関係)

地下水採取量等測定記録表

年 月分

区分	揚水設備の名称 又は番号						
	吐出口の断面積 (cm^2)						
分	採取量・稼働時間	採取量	稼働時間	採取量	稼働時間	採取量	稼働時間
	日						
採取量 (単位 立方メートル) ・ 稼働時間 (単位 時間)	1 日						
	2 日						
	3 日						
	4 日						
	5 日						
	6 日						
	7 日						
	8 日						
	9 日						
	10 日						
	11 日						
	12 日						
	13 日						
	14 日						
	15 日						
	16 日						
	17 日						
	18 日						
	19 日						
	20 日						
	21 日						
	22 日						
	23 日						

	24 日						
	25 日						
	26 日						
	27 日						
	28 日						
	29 日						
	30 日						
	31 日						
月間総採取量 (m ³)							
1日平均採取量 (m ³)							
水 位	測 定 日						
	揚 水 水 位 (地 表 面 下 m)						
	静 止 水 位 (地 表 面 下 m)						
	揚 水 機 停 止 後 の 経 過 時 間						
	測 定 方 法						

備考1 揚水機の吐出口の断面積が78平方センチメートル以下の揚水設備については、月間総採取量及び1日平均採取量のみを記録すること。

2 水量測定器に積算時間計を使用している場合の採取量は、次の計算式により算出すること。

$$\text{月間総採取量 (m}^3\text{)} = (\text{揚水機の1時間当たりの最大揚水能力 (m}^3\text{)}) \times (\text{月間稼働時間}) \times 0.8$$

$$\text{1日平均採取量 (m}^3\text{)} = \frac{\text{月間総採取量}}{\text{月間稼働日数}}$$

3 揚水水位については、測定日及び揚水機の運転中又は運転停止直後の水面までの深さを記載すること。

4 静止水位については、揚水機停止後の経過時間及びその時の地下水面までの深さを記載すること。なお、水位の測定は、原則として毎月末に行うこと。

5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。